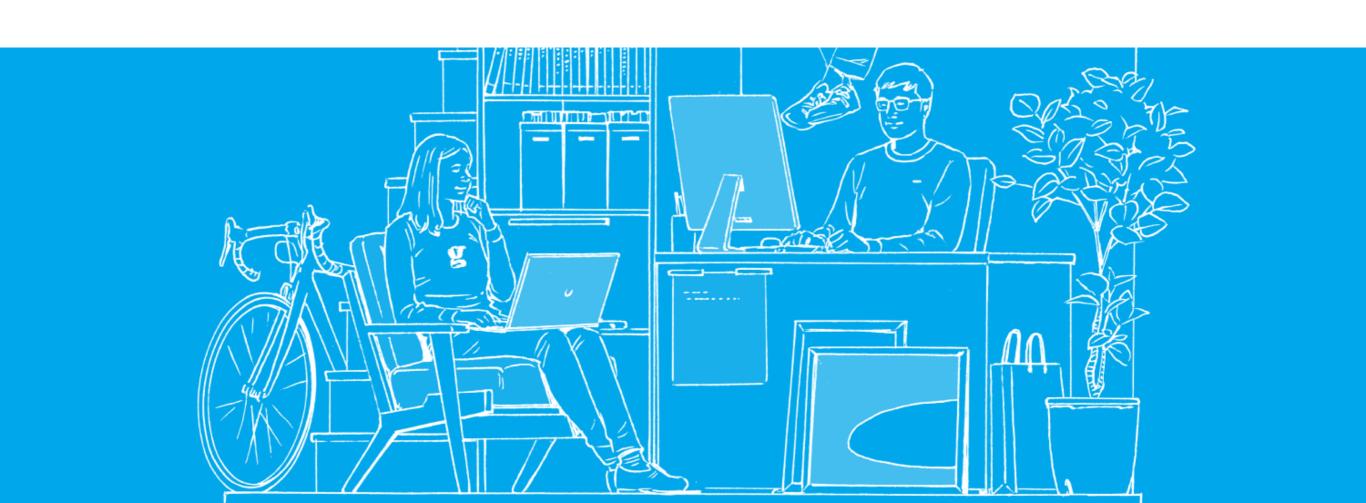


Gs Memo Pad



今日やること

javascriptの機能

<u>ローカルストレージ</u>

<u>を活用する</u>

本日のゴール

本日の完成図

Memo Pad					
タイトルを入力					
本文を入力					
	セーブ			全て削除	
タイトルを入力 文章を入力					
2個目のタイトル 2個目の文章					
		Gs			

<u>localStorage</u>を使用し、メモ帳アプリを作成します<u>@</u>



課題について

課題

- 1.localStorageを使用する
- 1データを削除(授業では全て削除のみ)
- <u>- 1データ更新(登録内容を更新)</u>
- 2.Styleやレイアウトを行う

活用してできるアイデアの参考↓付箋アプリや家計簿アプリじゃんけんの点数を記録させるポケモンアプリなど

事前のおさらい

事前のおさらい

なぜlocalStorageを触るの?

超端的に⇒

phpのフェーズでDB(データベース)という「保存」をする仕組

みを学びます

の

<u>「保存」をしたものを「表示」する一連を把握するために、まず</u>

<u>はjsを使って保存できる仕組みを学習していただきます♀</u>

<u>**このローカルストレージにはデメリットが存在します!そこを学</u>

<u>ぶことでphpが必要な理由を理解していただきます@</u>



西辽列

配列とは?

[配列](arrayと呼んでいます)

配列はJavaScriptの中でもよく使われるものです。配列とは値に順序をつけて格納する方法です。 配列に格納したそれぞれの値のことを要素、それぞれの要素の位置のことを<u>インデックス</u>(index) と呼びます。

どういうこと??よくわからん!

➡配列は「タンス」をイメージしてください

タンスの中にたくさんのデータを収納していて、それを活用して「画面に表示」をしたり、操作したり します<mark>◎</mark>

そして配列のXX番目というものを操作する際に「インデックス」と呼ばれる専門用語がでますが 基本的に「ゼロ番目」からカウントすると覚えておけばOKです₩

配列とは?

```
// タンス = データをまとめて収納しているイメージ<mark>◎</mark>
const kekka = ['大吉','中吉','小吉','吉']
const gsStaff = ['イケメン山崎学長','GsBossこだま','Gs母らんこ','チーフかのみ']
```

上記のように、複数のデータを「まとめて」管理しているイメージです。
これを一気に処理をするfor文などと組み合わせることで「簡単に操作」することができます。
※for文はこの後出ます



配列とは?

```
// タンス = データをまとめて収納しているイメージ◎
const kekka = ['大吉', '中吉', '小吉', '吉']
const gsStaff = ['イケメン山崎学長', 'GsBossこだま', 'Gs母らんこ', 'チーフかのみ']
// 配列を表示 or 確認するには?
│// 一番最初は0番からカウントをします◎
kekka[0] // 大吉
kekka[2] // 小吉
// gsStaffの場合
gsStaff[2] // Gs母らんこ
// console.logで確認する方法🤗
console.log(gsStaff[0]) // イケメン山崎学長
```

表示する際、操作する際は上記のようにすることで表示できます。



反復処理

反復処理とは?

[反復処理](for)

同じことを、指定した回数、繰り返し実行する方法のこと

どういうこと??よくわからん!

→100回同じことしたい!そんな時に使うテクニックのイメージ

タンスの中に100のデータを収納していて、それを100回「同じ操作を繰り返して」一気に処理をたいときなどに活用します ω

使わなくていい?使う必要は?

⇒使わなくてもできます!が複数回(イメージは10回以上やる場合)同じことをコピペで書き続けるのはかなり大変です!使った方がより楽だよね!と考えると良いかと思います**@**

反復処理とは?

上記のように、forを使用することで繰り返し同じことをまとめて実行できます♀♀ これを使わない場合はconsole.logの例にはなりますが、10回同じことをペタペタ記述しないといけないため、回数が増えるたびに手間が増えますよね♀♀

for文を使うことですっきり短く完結に!できるよ!というイメージを持ってください@



反復処理とは?

上記のように、forを使用し、配列を操作するとまとめて実行できます♀♀ ポイントはlengthです!♀️配列の長さという特殊なワードが出ますが、lengthを使うと 自動的に配列の中身の数を全てチェックできると思ってください♀♀ (そういうルール!)

なぜ使うの??

⇒テクニックだと思ってください⇔活用することで超楽だよね!というようなイメージです⇔



jQueryの機能紹介

jQueryの機能紹介

今回jQueryのおまじないで

val();

と呼ばれるものを触ります。

授業で実際に触れながら、どういったことができるのか?を学習していただきます。 それが完了してから実際に本日のゴールのコードを記述していただきます。

ポイント!

jQueryやjsを触る際は

あらかじめjs,jQueryの団体さんが「さまざまな機能」を開発してくれています⊖ それらを活用することで色々なことができますので、積極的にそれらの機能をチェックして いくとjsやjQueryがどんどんわかる様になっていきます⊖

補足

私はこのような機能を「おまじない」と表現していますが、実際にはメソッドといいます♥️ 難しい言葉で考えると混乱してしまいがちなので、なるべくわかりやすい言葉に変換してみましょう!



コード実装

localStorageとは

localStorageとは

localStorageはブラウザにデータを保存するための仕組みのこと javascriptの機能の一つです!

注意! (デメリット) セキュリティーは弱い、すぐ調べられる、活用される たくさんのデータは保存できない

属性n	説明
DATA取得	localStorage.getItem(KEYネーム);
DATA登録or更新	localStorage.setItem(KEYネーム, 値);
DATAを全削除	localStorage.clear();
1レコード削除	localStorage.removeItem(KEYネーム);
DATA数:データ個数	localStorage.length
DATA取得:0~n	localStorage.key(インデックス)



localStorageとは

確認方法はブラウザのデベロッパーツールを開いて以下の場所をチェックしましょう! 保存されると

キー、値の箇所に表示されます

の

自分で削除しない限りずっと残ります。

要素 コンソール	ソース ネットワーク アプリケ	ーション >>
アプリケーション	プ イルタ	⊘ ×
□ マニフェスト ☆ Service Workers	file://	
❷ ストレージ	オリジン file://	
ストレージ	+-	値
▼ 目 ローカル ストレージ		
file://		
▶ 囯 セッション ストレージ		
☐ IndexedDB		
⊜ ウェブ SQL		
▶ ⓒ Cookie		
◎ プライベート ステート ト-		
🖯 インタレスト グループ		
Q ##711 V		

```
<main>
 <div class="input-area">
   <input <u>id="title"</u> type="text" placeholder="タイトルを入力">
   <textarea <u>id="text"</u> placeholder="本文を入力"></textarea>
 </div>
 <div class="button-area">
   <button id="save">セーブ</button>
   <button id="clear">全て削除</button>
 </div>
</main>
ul id="list">
 <!-- ここに追加データが挿入される -->
```

htmlにidをつけましょう 🚇



```
//1.Save クリックイベント
$("#save").on("click", function () {
 const key = $("#title").val();
 const value = $("#text").val();
 localStorage.setItem(key, value);
 const html = `
 <
   ${key}
   ${value}
 $("#list").append(html);
});
```

Saveイベントの完成形の



```
//2.clear クリックイベント
$("#clear").on("click", function () {
  localStorage.clear();
  $("#list").empty();
});
```

Clearイベントの完成形の



```
//3.ページ読み込み:保存データ取得表示
for (let i = 0; i < localStorage.length; i++) {</pre>
 const key = localStorage.key(i);
 const value = localStorage.getItem(key);
 const html = `
 <
   ${key}
   ${value}
 $("#list").append(html);
```

ローカルストレージに保存されているものをリロードした際(初期表示に)表示する完成形**♀**



画面の表示確認

機能がきちんと動いているか画面を確認して

みましょう

<u>うまく行ってない方はテーブルの方に質問し</u>

てみましょう



まとめ

<u>本日はローカルストレージを活用してアプリケーションを行</u> <u>う授業となっておりました₩</u>

活用することで、「登録=保存」「削除」などの機能を取り込むことができます₩

<u>何を作るか、どんなことができるかなどを想像しながら相違</u> 工夫をしてみてください₩

